

情報科学研究科 情報科学専攻 修士・博士課程

教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各研究科・専攻は、それぞれの教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、専門領域ごとの特色を活かした教育方法による教育・研究を行っています。そしてその教育方法に特色ある工夫を重ね、教育・研究内容の向上に取り組んでいます。

【教育方法】

情報科学研究科では、社会情報学分野と健康情報学分野の2つの分野について教育・研究を行っています。修士課程では両分野の基礎となる情報学関係の科目が基礎科目として配置され、選択して履修することによって、研究に不可欠な情報科学の知識と活用を確かなものとします。さらに、より専門的な情報学科目及び社会情報学、健康情報学に関する専門科目を履修し、研究の基盤としていきます。博士課程では、研究テーマに関連した科目またはテーマを発展させるための専門科目を履修し、より高度な情報科学を学修することができます。

「情報科学特別研究」において、各専門分野の教員による研究指導を受けて修士又は博士論文の作成を行い、専門知識を用いた問題解決能力と、自立して研究を遂行する能力を醸成しています。

【教育の特色ある工夫】

- ・ 情報科学研究科は、薬学部、人文社会学部、ヒューマンケア学部、健康メディカル学部、共創学部の教員から構成されており、学際的であることを特色としています。そのため、指導教員以外のさまざまな分野の教員が柔軟に大学院生の教育・研究に関与することができます。
- ・ 研究者として必要な研究倫理を身につけるため、修士課程では「研究倫理学特論」を必修科目としています。